

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

「令和元年度山形県砂防・治山地方連絡調整会議」を開催

この会議は、土砂災害からの復旧工事や災害を未然に抑えるための予防工事について、関係機関が情報を共有し次年度以降の事業を円滑に実施することを目的とするものです。本年度は1月15日(水)に山形県庁で開催され、当支署治山担当職員を含む43名が出席しました。

全体会議(写真左)では、**山形県**、**国土交通省**、そして東北森林管理局から、来年度の山地治山に関する事業計画案が提示されました。

また、組織ごとの個別会議(写真右)では、法令関係の確認など今後の手続きを想定した情報交換が行われました。

大型台風や集中豪雨などの異常気象をはじめとした災害から、国土と国民の生命や財産を守るため、関係機関が一体となって砂防事業・治山事業に取り組んでおります。



令和元年度森林・林業技術交流発表会が開催されました

1月28・29日に、秋田市のアトリオンにて林業等関係者の技術の普及などを目的に、東北森林管理局の主催により開催されました。

山形県内からは**県立農林大学校**(写真)をはじめ**村山産業高校**・**県の総合支庁**、**森林管理署**などが6課題を発表しました。

全部で27課題の中から、**村山産業高校「林業の活性化に向けた取組～ドローンは林業の救世主!?!～」**が優秀賞を受賞しました。

森林・林業・木材産業の活性化のために、今後も関係者が一同に会しての、情報提供と意見交換が一層求められるものと実感しました。



山大農学部との連携講演会を聴講しました

1月31日に、鶴岡市の**山形大学農学部**において、**同学部との連携事業(シンポジウム)**が開催されました。

林田山形大学農学部長の挨拶の後、東北森林管理局小島局長による「**いまどきの林業と木材利用の新たな展開について**」の講演が行われ、社会情勢の変化から林業の現状、新たな取組についての紹介がありました。

続いて森林管理局の若手職員による、**国有林野事業と、その具体的な業務内容について**、資料をもとに自身の経験を交えての発表が行われました。



農学部長の開会のあいさつ



熱のこもった小島局長の講演

質疑では、入庁時の試験内容・現地での林業機械の使い分け・林業に対する熱意に地域性は?等活発な質問が出ました。

日本の森林と林業の現状について、大学生など一般の方々知って戴けたのは有意義との感を強くした連携事業でした。



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11



国民の森林・国有林